

2024年2月15日
24002

厚生労働省「SAFEアワード」 サッポロライオン“シニアの健康対策”が エイジフレンドリー部門でゴールド賞受賞

株式会社サッポロライオン（本社・東京都中央区、社長・三宅祐一郎）は、労働災害防止等に向けた取組を実施する企業・団体の優れた取組事例を、一般投票等を行い部門別に表彰する、厚生労働省「SAFE アワード」にて、エイジフレンドリー部門のゴールド賞を受賞したことをお知らせします。

サッポロライオン“シニアの健康対策”がエイジフレンドリー部門でゴールド賞受賞



昨年度につづき2回目の開催となった「SAFEアワード」は、職場において実施されている労働災害防止や安全・健康の増進のための取組事例を募集し、表彰することで、優良な取組みを進める職場の「見える化」を図り、企業・労働者による更なる取組を促進すること目的としています。

2024年2月9日に行われた授賞式では、厚生労働省が2022年に設立した、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」に加盟する企業・団体から応募された、労働災害防止等に向けた取組事例139事例から選ばれた地域別ブロック賞受賞71事例のなかから、全5部門のゴールド・シルバー・ブロンズの全15事例が受賞しました。

その中で、サッポロライオンが取組む、**高齢労働者が元気に長く働き続けられる環境の整備のために実施している保健師による健康チェックとフォローアップの取組が、エイジフレンドリー部門のゴールド賞を受賞しました。**

外食産業の人手不足の中で、働く意欲と技能・経験をもった重要な働き手であるシニアの労働者が安心して働けるようにしていくために、高齢労働者の特性（運動能力や視力・聴力の低下など）によって労働災害等のリスクが高まる可能性などを企業と労働者の双方が自分事として理解し労働環境を整えていく取組を、今後も推進してまいります。

【SAFEコンソーシアムポータルサイト】 <https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>

【受賞事例はこちらから】 <https://safeconsortium.mhlw.go.jp/award/>



－ おかげさまで、サッポロライオンは今年125周年を迎えます。－

1899年（明治32年）8月4日、「恵比壽ビヤホール」がエビスビールのプロモーション店舗として、銀座の新橋際にオープンしました。

これが、サッポロライオンの発祥であり、わが国のビヤホールのはじまりです。

★125周年記念イベント情報はこちら <https://www.ginzalion.jp/event/2024/01/125th.html> ★

以上

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

報道関係の方	営業統括部（広報担当）TEL：03-6264-6037 / E-mail：sln.kouhou@sapporo-lion.com
一般の方	お客様相談窓口 TEL：0120-848-136